

警報発表時の対応について

I 「特別警報」が発表されている場合

検査中・平常授業日にかかわらず、ただちに命を守る行動をとってください。重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、特別警報が発表されます。

特別警報が発表された場合、その地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や市町村から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

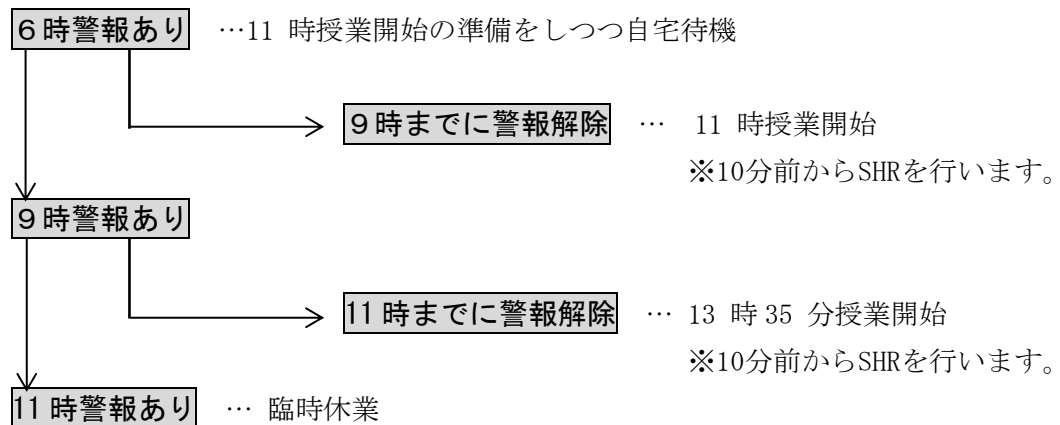
II 「警報」が発表されている場合

1 平常授業日

1 NHKテレビ、NHKラジオ、広島県防災Web において、
広島市 に

- ① 特別警報
- ② 大雨警報と洪水警報の両方
- ③ 暴風警報
- ④ 暴風雪警報
- ⑤ 大雪警報

①～⑤のうち一つでも発表された場合は次のような対応をしてください。ただし、避難情報が発令されている場合はそれを優先してください。



2 6時に警報が無かったが、その後警報発表を知ったとき

- (1) 通常の自宅出発時刻に警報発表 → 自宅待機。
- (2) 登校途中の警報発表 → 自宅へ引き返すことも含めて、安全最優先で臨機応変に対応すること。

3 広島市以外に居住している場合

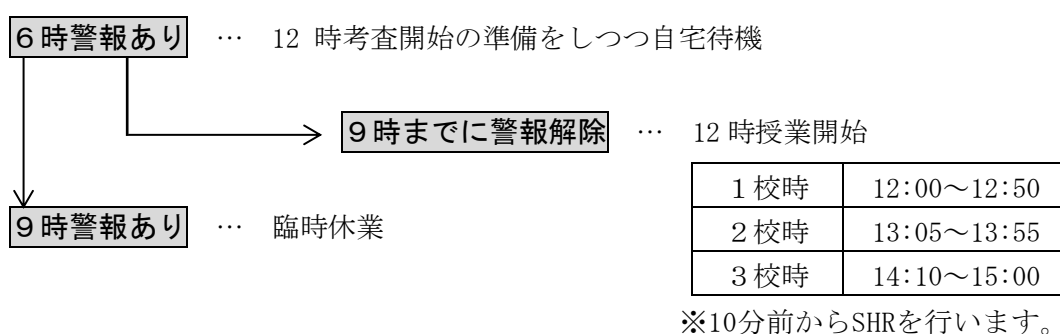
居住地域の警報状況と公共交通機関の状況で判断し、自宅に待機する場合は、学校にその状況を連絡すること。

2 考査期間中

1 NHKテレビ，NHKラジオ，広島県防災Web において， 広島市 に

- ① 特別警報
- ② 大雨警報と洪水警報の両方
- ③ 暴風警報
- ④ 暴風雪警報
- ⑤ 大雪警報

①～⑤のうち一つでも発表された場合は次のような対応をしてください。ただし、避難情報が発令されている場合はそれを優先してください。



※ その日実施できなかった考査は，考査最終日の翌日に実施する。
(翌日が休日のときは，休日の翌日。)

2 6時に警報が無かったが，その後警報発表を知ったとき

- (1) 通常の自宅出発時刻に警報発表 → 自宅待機。
- (2) 登校途中の警報発表 → 自宅へ引き返すことも含めて，安全最優先で臨機応変に対応すること。

3 広島市以外に居住している場合

居住地域の警報状況と公共交通機関の状況で判断し，自宅に待機する場合は，学校にその状況を連絡すること。